



# より科学的に。より実践的に。より高度に。よりプロフェッショナルに。

## 教育の目標

本学大学院スポーツ科学研究科は、高度なスポーツ科学の知識を持ち実践的な指導を行える専門家と、高度な専門知識に裏打ちされた斬新な研究を行う研究者を養成します。

### 博士前期課程

学部における体育・スポーツの教育を基盤に、スポーツ科学の研究を通じて、体育教育や運動、スポーツによる健康づくり、生きがいづくり、スポーツマネジメント、スポーツ競技力の向上などに高度で専門的な知識、技術を持った高度専門職業人を養成します。

### 博士後期課程

博士の学位を取得して、高度化する体育・スポーツ科学の発展に貢献できる研究者を養成します。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

### 大学院における教育課程編成の方針

- 大学院スポーツ科学研究科は、スポーツ科学専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、研究指導の計画を策定し、体系的に教育課程を編成する。
- 大学院スポーツ科学研究科は、教育課程の編成に当たっては、専攻分野に関する高度な専門知識及び能力を修得させるとともに、当該の専攻分野に関連する分野の基礎的教養を涵養するように適切に配慮する。
- 大学院スポーツ科学研究科は、5領域（スポーツ文化領域、競技スポーツ領域、健康スポーツ領域、学校体育領域、レジャー・レクリエーション領域）と10学問分野（スポーツ史・哲学、スポーツ社会学、スポーツマネジメント、スポーツ心理学、バイオメカニクス、教授学、スポーツ生理学、スポーツ医学、スポーツ栄養学、アダプテッド・スポーツ）を組み合わせて、スポーツ科学の研究・教育の多様なニーズに応える。

### 大学院における教育課程実施の方針

- 大学院スポーツ科学研究科は、専門性の一層の向上を図り幅広い学識を涵養するため、研究領域×学問分野表に基づく授業科目を充実させ、多様な授業科目の履修から研究指導へ有機的につながる体系的な教育を行う。また、本研究科の「学位授与の方針」に定めた修了時までに修得すべき知識・能力等がカリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかを示すため、シラバスで「学位授与の方針」で定められた知識・能力等との対応を示し、それら諸能力等を修得するプロセスを履修プロセス概念図で示す。
- 大学院スポーツ科学研究科は、学生の主体的で活発な勉強意欲を促進する立場から、インターンシップなどの授業時間外の多様な学修研究の機会を通じ、諸課題に積極的に挑戦させる。
- 大学院スポーツ科学研究科は、成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度を目安として採点する。
- 大学院スポーツ科学研究科は、博士前期課程及び博士後期課程の学位論文審査体制を充実させ、厳格な審査を行う。

## ◆ 大学院の履修課程 ◆

### スポーツ科学研究科

### スポーツ科学専攻

#### 博士前期課程（2年・修士） 科学的スポーツ実践者の育成 ○スポーツ科学理論と応用的方法論の修得

<p>【共通科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ科学統計(1)(2)</li> <li>●スポーツマネジメント論 特論・特論演習</li> <li>●スポーツマネジメント実践論 特論</li> <li>●地域スポーツ経営論 特論</li> <li>●スポーツマーケティング論 特論・特論演習</li> <li>●スポーツスポンサーシップ論 特論</li> <li>●野外スポーツ論 特論・特論演習</li> <li>●冒険教育 特論・特論演習</li> <li>●スポーツ社会学 特論・特論演習</li> <li>●スポーツビジネス 特論・特論演習</li> <li>●スポーツ史 特論・特論演習</li> <li>●スポーツ教育学 特論・特論演習</li> <li>●アダプテッド・スポーツ科学 特論・特論演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●武道学習論 特論・特論演習</li> <li>●バイオメカニクス 特論・特論演習</li> <li>●スポーツバイオメカニクス 特論・特論演習</li> <li>●神経・筋メカニクス 特論・特論演習</li> <li>●臨床バイオメカニクス 特論・特論演習</li> <li>●トレーニング科学 特論・特論演習</li> <li>●競泳科学 特論・特論演習</li> <li>●スポーツゲーム分析論 特論・特論演習</li> <li>●体力科学 特論・特論演習</li> <li>●運動学 特論・特論演習</li> <li>●球技パフォーマンス分析論 特論・特論演習</li> <li>●スポーツカウンセリング論 特論・特論演習</li> <li>●臨床スポーツ心理学 特論・特論演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感情スポーツ心理学 特論・特論演習</li> <li>●スポーツリーダーシップ論 特論・特論演習</li> <li>●スポーツ心理学実践論 特論(1)(2)</li> <li>●発育発達論 特論・特論演習</li> <li>●臨床スポーツ医学 特論・特論演習</li> <li>●健康管理論 特論・特論演習</li> <li>●スポーツ生理学 特論・特論演習</li> <li>●スポーツ栄養学 特論・特論演習</li> <li>●運動生化学 特論・特論演習</li> <li>●Academic English for Sport Sciences(Basic)</li> <li>●スポーツ科学特論A</li> <li>●スポーツ科学特論B</li> <li>●スポーツ科学セミナー</li> </ul>	<p>【総合科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●インターンシップ(1)(2)</li> <li>●実験実習(実験・調査・測定)(1)(2)</li> </ul>
---	---	--	--

※各特論演習:(1)(2)(3)(4)

#### 博士後期課程（3年・博士） 創造的・科学的専門家の育成 ○スポーツ科学の理論構築と創造的方法論の開発

<p>【共通科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●神経・筋メカニクス 特講・特講演習</li> <li>●臨床バイオメカニクス 特講・特講演習</li> <li>●スポーツカウンセリング論 特講・特講演習</li> <li>●スポーツ栄養科学 特講・特講演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●臨床内科スポーツ医学 特講・特講演習</li> <li>●臨床スポーツ医学 特講・特講演習</li> <li>●運動生化学 特講・特講演習</li> <li>●スポーツマネジメント論 特講・特講演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ科学研究論 特講</li> <li>●スポーツマーケティング論 特講</li> <li>●バイオメカニクス 特講</li> <li>●スポーツリーダーシップ論 特講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Academic English for Sport Sciences</li> </ul>
---	--	---	--

※各特講演習:(1)(2)(3)(4)(5)(6)

# 「広い視野」、「豊かな感性」、「発想力」を持って探究を

本学大学院は、博士前期課程では、高度なスポーツ科学の知識を持ち実践的な指導を行える専門家の養成を、博士後期課程では、高度な専門知識に裏打ちされた斬新な研究を行う研究者の養成を目的としています。

研究教育体制は、史哲・行動科学領域、身体運動・コーチ科学領域、健康・医科学領域の3つの専門領域を基盤とし、それに基づき、さらに5領域（スポーツ文化、競技スポーツ、健康スポーツ、学校体育、レジャー・レクリエーション）と10学問分野（スポーツ史・哲学、スポーツ社会学、スポーツマネジメント、スポーツ心理学、バイオメカニクス、教授学、スポーツ生理学、スポーツ医学、スポーツ栄養学、アダプテッド・スポーツ）の組み合わせにより、スポーツ科学の研究・教育に対する多様なニーズに応えられるように編成されています。

この研究教育体制の下で、スポーツ科学の研究を通じて、体育教育や運動・スポーツによる健康・生きがいづくり、スポーツマネジメント、競技力の向上などの分野に貢献できる人材と、高度化・グローバル化するスポーツ科学の発展に貢献できる研究者を養成します。

大学院生の皆さんには、スポーツの持つ可能性を「広い視野」、「豊かな感性」、「発想力」を持って探究し、創造性に富んだ研究に挑戦してほしいと思います。

## 大学院 研究科長 前島 悦子 [Etsuko Maeshima]

専門分野：スポーツ医学  
学位：博士（医学） 和歌山県立医科大学

- 主な業績・著書：
- ・Cognitive function in middle-aged and older adults participating in synchronized swimming-exercise. Maeshima E, Okumura Y, Tatsumi J, Tomokane S, Ikeshima A. (J Phys Ther Sci, 2017)
  - ・Influence of detraining on temporal changes in arterial stiffness in endurance athletes: a prospective study. Koshiba H, Maeshima E. (J Phys Ther Sci, 2015)

大学院 担当授業：  
健康管理論特論、臨床内科スポーツ医学特講など

最近の活動：  
地域住民を対象に、「体力若返り講座」を健康スポーツコースにて開催。「健康・体力づくり」のための運動プログラムを中高齢者、難病疾患患者を対象に実践中。

## [ 博士前期課程 ]



**會田 空**  
Sora Aita

1 年次生

私は学内選抜により大学院に進学しました。大学院への進学は体育学部 3 年の時に、スポーツ心理・カウンセリングコースに所属した時から考えていました。自分が学習したことのない新しい分野の学問と出会い、スポーツ心理学の楽しさを感じました。また、私は水泳の指導者になりたいという夢があります。その過程で、メンタルトレーニングの技法や選手のカウンセリング方法をより深く学びたいとも考え、大学院進学を決めました。私が一般選抜ではなく学内選抜を選んだ理由は、早く合格が決まることで入学までの準備期間ができ、大学院で学ぶ上での土台をしっかりと作れると考えたからです。合格から入学までの期間があったため、部活に参加しながら自分の研究やスポーツ心理学の学習に時間を使えました。そうした土台があるからこそ、現在充実した大学院生活を送ることができています。今後は指導者のリーダーシップについての研究を深め、水泳の指導者になれるように結果を残していきたいと思っています。



**中山 雅斗**  
Masato Nakayama

2 年次生

私は、大学院でバレーボールの指導法に関する研究を行っています。その傍ら、大阪体育大学の子バレーボール部でコーチとしても活動しております。大学院に進学を決めた理由も、より専門的なスポーツの科学の知識を身につけバレーボールの指導に活かしたいと考え大学院への進学を決めました。今は、大学院での“研究”だけでなく、実際の指導現場という“実践”の場の両方があり、とても恵まれた環境で大学院生活を送れている事を感じています。また、大学院の授業は少人数での授業となっているため、先生と大学院生同士のディスカッションベースの授業が多く、授業中の議論の中で実際にコーチングをしていて疑問に思ったことなどを様々な先生方の意見を聞ける機会があります。様々な研究分野の先生方の意見を聞くことにより、一つの問題に対してより多角的に物事を考えることができるようになりました。これからも、大学院での学びをコーチングに活かし、チームに貢献できるように努力していきたいと思っています。



**神谷 知里**  
Chisato Kamiya

1 年次生

現在、私は名古屋にある大学でバスケットボール部のコーチとしてインカレ出場を目標に指導にあたっています。私は小学生の頃からバスケットボールを始め、大阪体育大学体育学部で在学していた4年間クラブ活動と学業に励み、インカレ準優勝を経験しました。大学卒業後は W リーグで現役を 6 年間続けていましたが、引退を機に指導者としてバスケットボールに携わってきました。自分自身が選手時代に感じていた課題や思い、指導者になって感じた課題に対して多角的な知見を求めて大学院に進学しました。選手は常に自己の競技レベル、能力の向上を日頃から求めていると思います。いかに選手個々の実力を試合で発揮できるか、そしてチームとして実力を発揮するために求められるチーム力について研究を行っています。バスケットボールの指導現場と研究から“強いチームとは何か”を追い求めていきたいと思っています。

## [ 研究領域・学問分野表 ]

本大学院では学生が受験・師事する際に、学問分野と研究領域をもとに、より具体的に選択できるようにしています。

■ 博士後期課程:博士論文指導担当 ■ 博士前期課程:修士論文指導担当 ※ 博士後期課程担当者は全員博士前期課程・修士論文指導も担当します。

		研究領域				
		スポーツ文化	競技スポーツ	健康スポーツ	学校体育	レジャー・レクリエーション
史哲・行動科学領域	スポーツ史・哲学	梅垣・中房	梅垣・中房・曾根	梅垣	梅垣・中房	梅垣
	スポーツ社会学	中山	中山	中山	—	中山
	スポーツマネジメント	富山	富山 藤本・徳山	富山 藤本・徳山	福田	富山 伊原・福田・藤本・徳山
	スポーツ心理学	土屋 手塚・小菅	土屋 菅生・手塚・小菅	土屋 菅生・手塚	土屋 手塚	土屋 手塚
	アダプテッド・スポーツ	植木	植木	植木	植木	植木
	バイオメカニクス	—	石川・下河内 尾関・神崎・藤原・淵本	下河内 淵本	石川 高本・淵本	—
	教授学(指導方法学)	梅垣・神崎	浅井・梅林・尾関・神崎 曾根・高本・藤原・宮地	梅林・神崎	梅垣・梅林 神崎・高本・福田	伊原・福田
	スポーツ生理学	—	浜田 足立・梅林・三島	浜田 足立・梅林・三島	梅林	—
	スポーツ医学	—	前島・森北	前島・森北	前島	—
	スポーツ栄養学	—	岡村	岡村	岡村	岡村
学問分野	スポーツ史・哲学	梅垣・中房	梅垣・中房・曾根	梅垣	梅垣・中房	梅垣
	スポーツ社会学	中山	中山	中山	—	中山
	スポーツマネジメント	富山	富山 藤本・徳山	富山 藤本・徳山	福田	富山 伊原・福田・藤本・徳山
	スポーツ心理学	土屋 手塚・小菅	土屋 菅生・手塚・小菅	土屋 菅生・手塚	土屋 手塚	土屋 手塚
	アダプテッド・スポーツ	植木	植木	植木	植木	植木
	バイオメカニクス	—	石川・下河内 尾関・神崎・藤原・淵本	下河内 淵本	石川 高本・淵本	—
	教授学(指導方法学)	梅垣・神崎	浅井・梅林・尾関・神崎 曾根・高本・藤原・宮地	梅林・神崎	梅垣・梅林 神崎・高本・福田	伊原・福田
	スポーツ生理学	—	浜田 足立・梅林・三島	浜田 足立・梅林・三島	梅林	—
	スポーツ医学	—	前島・森北	前島・森北	前島	—
	スポーツ栄養学	—	岡村	岡村	岡村	岡村
身体運動科学領域	スポーツ史・哲学	梅垣・中房	梅垣・中房・曾根	梅垣	梅垣・中房	梅垣
	スポーツ社会学	中山	中山	中山	—	中山
	スポーツマネジメント	富山	富山 藤本・徳山	富山 藤本・徳山	福田	富山 伊原・福田・藤本・徳山
	スポーツ心理学	土屋 手塚・小菅	土屋 菅生・手塚・小菅	土屋 菅生・手塚	土屋 手塚	土屋 手塚
	アダプテッド・スポーツ	植木	植木	植木	植木	植木
	バイオメカニクス	—	石川・下河内 尾関・神崎・藤原・淵本	下河内 淵本	石川 高本・淵本	—
	教授学(指導方法学)	梅垣・神崎	浅井・梅林・尾関・神崎 曾根・高本・藤原・宮地	梅林・神崎	梅垣・梅林 神崎・高本・福田	伊原・福田
	スポーツ生理学	—	浜田 足立・梅林・三島	浜田 足立・梅林・三島	梅林	—
	スポーツ医学	—	前島・森北	前島・森北	前島	—
	スポーツ栄養学	—	岡村	岡村	岡村	岡村
健康・医科学領域	スポーツ史・哲学	梅垣・中房	梅垣・中房・曾根	梅垣	梅垣・中房	梅垣
	スポーツ社会学	中山	中山	中山	—	中山
	スポーツマネジメント	富山	富山 藤本・徳山	富山 藤本・徳山	福田	富山 伊原・福田・藤本・徳山
	スポーツ心理学	土屋 手塚・小菅	土屋 菅生・手塚・小菅	土屋 菅生・手塚	土屋 手塚	土屋 手塚
	アダプテッド・スポーツ	植木	植木	植木	植木	植木
	バイオメカニクス	—	石川・下河内 尾関・神崎・藤原・淵本	下河内 淵本	石川 高本・淵本	—
	教授学(指導方法学)	梅垣・神崎	浅井・梅林・尾関・神崎 曾根・高本・藤原・宮地	梅林・神崎	梅垣・梅林 神崎・高本・福田	伊原・福田
	スポーツ生理学	—	浜田 足立・梅林・三島	浜田 足立・梅林・三島	梅林	—
	スポーツ医学	—	前島・森北	前島・森北	前島	—
	スポーツ栄養学	—	岡村	岡村	岡村	岡村

## [ 博士後期課程 ]

## [ 博士前期課程(2年・修士)履修例 ]

● スポーツマネジメントを学んでいる人が主に履修している科目

授業科目	単位	教員
スポーツ科学統計(1)(選択必修)	2	手塚 洋介
スポーツ科学セミナー(選択必修)	2	オムニバス
スポーツマネジメント論特論	2	富山 浩三
スポーツマーケティング論特論	2	藤本 淳也
スポーツスポンサーシップ論特論	2	藤本 淳也
地域スポーツ経営論特論	2	富山 浩三
野外スポーツ論特論	2	福田 芳則
スポーツマネジメント実践論特論	2	外部講師
インターンシップ(2)	4	各指導教員
スポーツビジネス特論	2	徳山 友
冒険教育特論	2	伊原 久美子
スポーツ社会学特論	2	中山 健
スポーツゲーム分析論特論	2	浅井 正仁
スポーツ教育特論	2	梅垣 明美

将来活躍するフィールドを見据えた科目が揃っています。

修了所要単位数 30単位以上  
(指導教員の特論演習(1)~(4)合計4単位を含む)  
※科目名等は変更になる場合があります。

● コーチングを学んでいる人が主に履修している科目

授業科目	単位	教員
スポーツ科学統計(1)(選択必修)	2	手塚 洋介
スポーツ科学セミナー(選択必修)	2	オムニバス
球技パフォーマンス分析論特論	2	宮地 弘太郎
トレーニング科学特論	2	足立 哲司
スポーツゲーム分析論特論	2	浅井 正仁
運動学特論	2	曾根 純也
体力科学特論	2	梅林 薫
武道学習論特論	2	神崎 浩
競泳科学特論	2	尾関 一将
インターンシップ(2)	4	各指導教員
バイオメカニクス特論	2	淵本 隆文
神経・筋メカニクス特論	2	石川 昌紀
スポーツ栄養学特論	2	岡村 浩嗣
臨床スポーツ医学特論	2	森北 育宏

● スポーツ心理を学んでいる人が主に履修している科目

授業科目	単位	教員
スポーツ科学統計(1)(選択必修)	2	手塚 洋介
スポーツ科学セミナー(選択必修)	2	オムニバス
スポーツカウンセリング論特論	2	土屋 裕睦
臨床スポーツ心理学特論	2	菅生 貴之
感情スポーツ心理学特論	2	手塚 洋介
スポーツリーダーシップ論特論	2	小菅 萌
インターンシップ(2)	4	各指導教員
実験実習(実験・調査・測定)(2)	4	外部講師
スポーツ史特論	2	中房 敏朗
体力科学特論	2	梅林 薫
スポーツ教育特論	2	梅垣 明美
発育発達論特論	2	高本 恵美
健康管理論特論	2	前島 悦子

● 体育科教育を学んでいる人が主に履修している科目

授業科目	単位	教員
スポーツ科学統計(1)(選択必修)	2	手塚 洋介
スポーツ科学セミナー(選択必修)	2	オムニバス
スポーツ教育特論	2	梅垣 明美
冒険教育特論	2	伊原 久美子
アダプテッド・スポーツ科学特論	2	植木 章三
武道学習論特論	2	神崎 浩
スポーツゲーム分析論特論	2	浅井 正仁
臨床スポーツ心理学特論	2	菅生 貴之
インターンシップ(2)	4	各指導教員
発育発達論特論	2	高本 恵美
体力科学特論	2	梅林 薫
野外スポーツ論特論	2	福田 芳則
スポーツ史特論	2	中房 敏朗

● スポーツ医学を学んでいる人が主に履修している科目

授業科目	単位	教員
スポーツ科学統計(1)(選択必修)	2	手塚 洋介
スポーツ科学セミナー(選択必修)	2	オムニバス
バイオメカニクス特論	2	淵本 隆文
神経・筋メカニクス特論	2	石川 昌紀
スポーツバイオメカニクス特論	2	藤原 敏行
発育発達論特論	2	高本 恵美
スポーツ栄養学特論	2	岡村 浩嗣
運動生化学特論	2	浜田 拓
臨床スポーツ医学特論	2	森北 育宏
健康管理論特論	2	前島 悦子
スポーツ生理学特論	2	三島 隆章
臨床バイオメカニクス特論	2	下河内 洋平
体力科学特論	2	梅林 薫